

府政防第1370号
令和2年7月22日

各都道府県知事 殿

内閣府政策統括官（防災担当）
（ 公 印 省 略 ）

令和2年度「防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）」（第1期）のご案内
【オンライン研修】

平素より、防災施策の推進について御尽力をいただきありがとうございます。
内閣府（防災担当）では、

- ・危機事態に迅速・的確に対応できる人
- ・国・地方のネットワークを形成できる人

を求める人材像とし、国や地方公共団体の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

本研修は、災害対応を行うにあたり不可欠となる知識・技能・態度を効果的に身につけることができる研修として、災害本部運営の中核的役割を担う職員を対象としたコース、避難所運営や罹災証明書発行、避難勧告発令、復旧・復興など個別の課題に専門的に従事する職員を対象としたコース、防災部門への新任職員を対象としたコースなど全10コースを設けております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今期はオンライン研修とします。

ついては、標記について、下記のとおり実施しますので、医療福祉部局や都市計画・土木部局など、防災部局以外の職員の参加も呼び掛けていただき、積極的な参加についてご配慮いただきますようお願い申し上げます。

また、別添の市区町村向けの案内及び募集要項について貴管内市区町村（政令市を含む。）に案内いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

1. 研修実施期間 令和2年9月14日（月）～令和2年10月22日（木）
（全10コース、各コース講義：14日間 演習：1日※時間は調整中）
2. 研修方法・内容 今期はオンライン研修（別添パンフレットを参照）
3. 募集期間 令和2年8月3日（月）13時～8月11日（火）13時まで
4. 応募方法等 別添「募集要項」を参照

＜本件の問い合わせ先＞
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（地方・訓練担当）付
参事官補佐 宮坂 広志
川中 将史
電話：03-3503-2236（直通）

各市区町村長 殿

内閣府政策統括官（防災担当）
（ 公 印 省 略 ）

令和2年度「防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）」（第1期）のご案内
【オンライン研修】

平素より、防災施策の推進について御尽力をいただきありがとうございます。
内閣府（防災担当）では、

- ・危機事態に迅速・的確に対応できる人
- ・国・地方のネットワークを形成できる人

を求める人材像とし、国や地方公共団体の職員を対象とした「防災スペシャリスト養成研修」に取り組んでいます。

本研修は、災害対応を行うにあたり不可欠となる知識・技能・態度を効果的に身につけることができる研修として、災害本部運営の中核的役割を担う職員を対象としたコース、避難所運営や罹災証明書発行、避難勧告発令、復旧・復興など個別の課題に専門的に従事する職員を対象としたコース、防災部門への新任職員を対象としたコースなど全10コースを設けております。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今期はオンライン研修とします。

ついては、標記について、下記のとおり実施しますので、医療福祉部局や都市計画・土木部局など防災部局以外の職員の参加も呼び掛けていただき、積極的な参加についてご配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

1. 研修実施期間 令和2年9月14日（月）～令和2年10月22日（木）
（全10コース、各コース講義：14日間 演習：1日※時間は調整中）
2. 研修方法・内容 **今期はオンライン研修**（別添パンフレットを参照）
3. 募集期間 令和2年8月3日（月）13時～8月11日（火）13時まで
4. 応募方法等 別添「募集要項」を参照

＜本件の問い合わせ先＞
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（地方・訓練担当）付
参事官補佐 宮坂 広志
川中 将史
電話：03-3503-2236（直通）



令和2年度「防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）」（第1期） オンライン研修 募集要項

内閣府は、国・地方公共団体の職員を対象とした令和2年度「防災スペシャリスト養成研修（有明の丘）」（第1期）を、下記のとおり実施します。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、今期はオンライン研修とします。

記

1 各コースの概要 （注）演習の実施時間の詳細は調整中

コース名	受講期間等
① 防災基礎	講義：令和2年9月14日(月)～27日(日) 演習：10月1日(木)午後 ※ 防災部門のみならず、災害対応に関わることになる職員など、災害対応の基礎を学びたい方を対象とします。
② 災害への備え	講義：令和2年9月21日(月)～10月4日(日) 演習：10月8日(木)午後 ※ 防災計画等の立案や住民啓発、防災教育、企業防災、災害ボランティアを担当する職員など、平常時の防災対策を実施するための知識や手法を学びたい方を対象とします。
③ 警報避難	講義：令和2年9月14日(月)～27日(日) 演習：9月30日(水)午後 ※ 住民の避難誘導を担当する職員など、情報の収集・分析、避難勧告等の発令、避難誘導対策を学びたい方を対象とします。
④ 応急活動・ 資源管理	講義：令和2年9月21日(月)～10月4日(日) 演習：10月8日(木)午後 ※ 応急活動や応援・受援を担当する職員など、物資・活動拠点や外部からの応援といった災害時の資源（人・物・環境）の管理と調整について学びたい方を対象とします。
⑤ 被災者支援	講義：令和2年9月28日(月)～10月11日(日) 演習：10月14日(水)午前 ※ 医療・福祉・保健部門で避難所運営や被災者対応を担当する職員など、被災者支援を実施するために必要となる知識や手法を学びたい方を対象とします。
⑥ 復旧・復興	講義：令和2年10月5日(月)～18日(日) 演習：10月22日(木)午前 ※ インフラ整備や都市計画部門で復興を担当する職員や、生活・社会・産業など総合的な復興計画策定等を担当する政策企画部門の職員など、被災自治体が取り組む復旧・復興政策を学びたい方を対象とします。
⑦ 指揮統制	講義：令和2年10月5日(月)～18日(日) 演習：10月22日(木)午後 ※ 災害対応における組織の運営や参謀としての役割につく防災担当の幹部の方などを対象とします。
⑧ 対策立案	講義：令和2年9月28日(月)～10月11日(日) 演習：10月15日(木)午後 ※ 災害対策本部で発災時に被災状況等を情報収集・分析し、適切な対策を迅速に立案する防災担当の方を対象とします。
⑨ 人材育成	講義：令和2年9月28日(月)～10月11日(日) 演習：10月14日(水)午後 ※ 防災担当の幹部職員など、職員や組織の災害対応能力向上を図るための人材育成プログラムの策定、訓練・研修の効果的な企画・運営の知識や手法を学びたい方を対象とします。
⑩ 総合監理	講義：令和2年10月5日(月)～18日(日) 演習：10月22日(木)午前 ※ 防災に関する政策立案や、平常時から災害対応に必要な組織の構築を担う防災担当幹部職員など、総合的な防災政策を実施するための知識や手法を学びたい方を対象とします。

2 定員

各コースとも原則60名

3 受講方法

- ・本研修の、講義は「学習管理システム（以下、「LMS」という）」を使用し、演習は「テレビ会議サービス Zoom（以下、「Zoom」という）」を使用します。
- ・講義及び演習の受講方法は以下のとおりです。

①講義の受講方法

- ・講義は Web から LMS にアクセスして受講します。「5（4）参照」
LMS には「1 各コースの概要」に記載された講義期間中いつでもアクセスできます。
- ・LMS にアクセスするにはインターネットに接続可能なパソコンやタブレット等が必要です。P.3 の「6 推奨環境」を必ずご確認ください。
- ・LMS へのアクセス方法、ID・パスワードは、受講確定通知にて別途通知されます。
- ・LMS にアクセスすると、講義動画を聴講できます。LMS の案内に従い講義を聴講してください。講義動画は1単元あたり概ね60分程度です。

②演習の受講方法

- ・演習は Zoom を使用し、リアルタイムに行います。演習は、「1 各コースの概要」に記載された演習日（演習の実施時間は調整中）に行います。決められた日時にリアルタイムで Zoom により演習に参加してください。
- ・Zoom を使用するには、インターネットにアクセス可能かつ Zoom のインストールが可能なパソコンやタブレット等が必要です。P.3 の「6 推奨環境」を必ずご確認ください。
- ・Zoom の会議参加方法は演習実施1週間前までにメールにて通知されます。
- ・演習当日は、Zoom から参加いただきコースコーディネーター及び事務局の案内に従い演習を実施してください。

4 修了証

定められた期間内で全ての講義と演習を受講した者には、修了証（PDF）を発行します。修了証は演習終了後10営業日以内にメールで送付します。

5 募集要領

（1）応募方法等（※抽選により受講者を決定）

- ① 防災スペシャリスト養成研修ホームページ（<https://bousai-ariake.jp>）内の「受講申込」にある、「防災スペシャリスト養成研修（有明の丘研修 第1期）受講申込フォーム」（https://bousai-ariake.jp/introduction/ariake/introduction_form）に、必要事項をご入力いただき、送信してください。

※ 複数のコースを申し込むことができます。その場合、希望するコースをすべて選択してください。

- ② 定員を超過した場合は、**抽選により受講者を決定します。**（同一コースに同一所属（課）からは2名の受講を上限とします。プログラムによる抽出を行います。）
- ③ 受講可否については、募集期間終了後10日以内を目安に、株式会社サイエンスクラフトよりすべての応募者に対し、電子メールにて通知します。

- ④ 受講決定者には受講決定通知（ID 及びパスワードを含む）を送付します。
- ⑤ 受講確定後の受講者変更はできません。
- ⑥ キャンセルによる再抽選は行いません。
- ⑦ 各コースともに全カリキュラムの受講をお願いします。
(一部カリキュラムのみの受講は認めておりません)

(2) 応募期間

令和2年8月3日（月）13時00分から、11日（火）13時00分まで

(3) 必要経費

受講料は無料です。

(4) 受講環境（ご注意ください）

受講環境は、受講者自身で確保していただくことを基本とします。

- ✓ 受講環境は、「6 推奨環境」を参照してください。
- ✓ Zoomによる演習への参加環境が確保できない場合は、事前の申込みによりタブレットを無償で貸与します。(送料・手数料として3,000円をご負担いただきます。)なお、演習の翌日中に宅配便で返却していただきます。返却できなかった場合は、延長料金として1万円をご負担いただくこととなりますので、ご了承のうえお申込みください。

6 推奨環境

(1) 環境について

オンライン研修は、パソコン・スマートフォン／タブレットから受講できます。

応募前に必ず受講環境を確認してください。

OS	<p>最新の OS ご利用を推奨します。</p> <p>【パソコン】 [Windows] ・Windows 10、Windows 8、8.1 [Mac] ・Mac OS X 10.9 以上</p> <p>【スマートフォン／タブレット】 [iPhone/iPad] ・iOS10 以上、iPadOS13 以上 [Android] ・Android OS 7.0 以上</p>
インターネット	<p>インターネットへの接続環境が必要です。</p> <p>※動画の閲覧・テレビ会議への参加には多くの通信量が掛かるため<u>固定回線の利用を推奨</u>します。モバイル回線を使用される際には通信量にご注意ください。</p>
ブラウザ	<p>LMS へのアクセスにはブラウザが必要です。最新版のブラウザの使用を推奨します。</p> <p>【パソコン】 [Windows] ・Internet Explorer、Edge、Chrome、Firefox（最新版） ※Internet Explorer9 及びそれ以前の旧バージョンは非対応です。 [Mac] ・Safari、Chrome</p> <p>【スマートフォン／タブレット】 [iPhone/iPad] ・Safari [Android] ・Chrome</p>
アプリ	Zoom（最新版）

スピーカー・マイク・Webカメラ	機器内蔵もしくはUSB接続のスピーカー・マイク・Webカメラ
------------------	--------------------------------

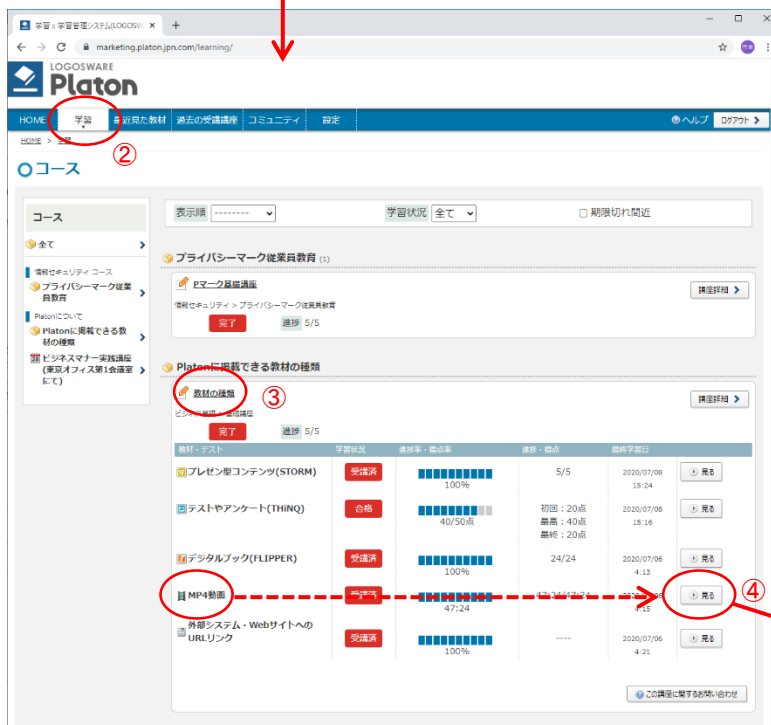
(2) LMS へのアクセス確認

以下のサイトで、当研修で利用する LMS を通じて講義動画が視聴できるか確認できます。

【URL】 <https://marketing.platon.jpn.com/> (Platon) ※デモ用の「ログイン画面」が表示されます。



① ログイン画面でログイン



② タブ【学習】をクリック

③ 【教材の種類】をクリック

④ 【MP4動画】の【見る】をクリック



動画（音声あり）が再生できれば OK

7 その他

- ・当該研修の詳細については、「防災スペシャリスト養成研修ホームページ」にて適宜情報提供いたします。
- ※防災スペシャリスト養成研修ホームページ(<https://bousai-ariake.jp>)
- ・本業務は、株式会社サイエンスクラフトに業務を委託しております。
- ・その他ご不明な点は、下記「研修に関する問合せ先」までご連絡ください。

【主催】

内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（地方・訓練担当）付

参事官補佐 宮坂広志・川中将史 電話：03-3503-2236（直通）

【研修に関する問合せ先】

〒102-0085 東京都千代田区六番町 13-7 中島ビル 2 階

（株）サイエンスクラフト 担当：武田・清水・石原・塚本

電話：080-7991-3816 FAX：03-6261-5904 E-mail:kenshu@scraft.co.jp

研修カリキュラム

【令和2年度 第1期】

① 「防災基礎」

コースディネーター ◆牛山泰行 (静岡大学)

1	防災基礎総論	防災・危機管理の基本的な考え方を学びます。
2	ハザードのメカニズムと実態 2-1風水害 2-2火山災害 2-3地震津波災害	「風水害」「火山災害」「地震・津波災害」の3つの災害について、それぞれハザードのメカニズムや災害による被害、防災対策について3つの講義に分けて学びます。
3	地域の脆弱性と被害の実態	人的被害の実態や地域を知ることの重要性を理解し、防災情報に基づく避難のあり方について学びます。
4	防災行政概要／防災法体系 4-1防災行政概要 4-2災害法体系 4-3防災計画	講義「防災行政概要」では、防災活動全体の流れと個々の活動の基礎的な知識を学びます。「災害法体系」では災害対策基本法・災害救助法などの災害関連法の体系等を、「防災計画」では国や地方公共団体等の防災計画について学びます。
5	災害対応過程と態度を学ぶ 全体討論	災害発生前後の地方公共団体の対応について具体的な事例に沿って学びます。

② 「災害への備え」

コースディネーター ◆丸谷浩明 (東北大学)

1	「災害への備え」総論	自助・共助・公助による災害への備えの基本的な考え方や対策を学びます。
2	「災害への備え」としての地域防災計画、地区防災計画	地域防災計画、地区防災計画等を、どのように災害の備えに向けて活用するのかを学びます。
3	防災教育・災害教訓の伝承	地域に根差した防災活動を進めるための防災教育および災害教訓の伝承について学びます。
4	企業防災	企業が災害時に果たすべき役割を認識し、企業と行政が連携した防災活動について学びます。
5	行政のBCP、BCM	行政におけるBCP、BCMの意味と策定のポイントについて学びます。
6	住民啓発	住民向けの防災の啓発の基本的な事項および具体例について学びます。
7	地域の自主的な防災活動	住民の自主防災組織の意義・役割と行政による推進策について学びます。
8	災害ボランティア	災害ボランティアの意義・役割と行政との連携について学びます。
9	「災害への備え」ワークショップ シヨッパ・全体討論	自助・共助・公助による災害への備えの推進方策についてワークショップ形式で学びます。また、災害への備えについて学んだことを、受講者が自らの組織でどのように反映させるのかを考えます。

オンデマンド
(講義動画を視聴/個人で作業) リアルタイム
講義・ワーク 演習

③ 「警報避難」

コースディネーター ◆井ノ口完成 (富山大学)

1	警報避難総論	警報避難対策の基本的な考え方と事前対策を学びます。
2	警報等の種類と内容	警報等の種類と内容、伝達を学びます。
3	避難勧告等の判断・伝達	避難勧告等の判断と伝達方法について学びます。
4	土砂災害における警報と避難	土砂災害における警報と避難の実務について学びます。
5	土砂災害の事例に学ぶ	土砂災害の事例から土砂災害における警報と避難について、その実態を演習形式で学びます。
6	風水害における警報と避難	風水害における警報と避難の実務について学びます。スマートフォン、避難計画などについて理解し、高齢者、障がい者、外国人への配慮など、避難誘導の際に留意すべき点を学びます。
7	風水害からの警報避難における決心	風水害における警報と避難の決心ポイントを演習形式で学びます。
8	風水害におけるタイムライン計画	風水害における警報と避難のタイムライン計画の作成方法を演習形式で学びます。
9	避難場所・避難所の認定と適否判断・全体討論	住民等の避難行動の目的となる避難場所・避難所の種類とその設置要件及び災害発生時に避難場所・避難所の適否を判断するうえで、防災力向上のため、警報避難に関する業務にどのように反映させるのかを考えます。

※ 複数のコースへの応募が可能です。
※ 研修カリキュラムは変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。
※ 講義・ワークは各コースともに合計時間は約8時間です。演習は現在調整中です。(1～3単元を予定)

④ 「応急活動・資源管理」

コースディネーター ◆宇田川真之 (防災科学技術研究所)

1	応急活動・資源管理総論	応急活動の流れと資源管理に関する基本的な考え方について学びます。
2	初動対応における国との連携	国における初動対応の内容とその連携のあり方について学びます。
3	地方公共団体間の相互応援と支援体制	災害時の行政機関の間で行われる応援支援の仕組みと支援体制について学びます。
4	災害廃棄物処理	被災地における資源確保の例として、災害廃棄物の撤去・処理の進め方と留意点を事例に基づき学びます。
5	資源管理演習	災害対策本部における資源(人的、物的、空間、サービス)の確保、管理における留意点などを演習形式で学びます。
6	救援物資の調達／救援物資の輸配送	救援物資の調達に関する実務と課題について学びます。また、救援物資員の輸配送に関する実務と課題を学びます。
7	活動拠点・環境の確保	応急活動を行うために必要となる活動拠点や通信サービス等の確保について学びます。
8	救援物資ロジスティクス演習	救援物資の調達から輸送・保管・配布における留意点などを演習形式で学びます。また、防災力アップのため、災害時の物資物流と広域的な応援体制について学んだことを、受講者が担当する業務にどのように反映させるのかを考えます。
9	質疑応答・意見交換	コース全体の疑問や意見等を通じて理解を深めます。

⑤ 「被災者支援」

コースディネーター ◆田村圭子 (新潟大学)

1	被災者支援総論	被災者支援の実態と被災者支援の全体像を学びます。
2	災害救助法と被災者生活再建支援法	被災者支援における災害救助法と生活再建支援法の位置づけや各制度、手続き、適用事例を学びます。
3	避難所のライフサイクル	運営体制の確立、運営、被災者のニーズへの対応、解消までの避難所のライフサイクルを学びます。
4	避難所運営の実際	事例を基に避難所運営の実際を学びます。
5	要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援	災害時要配慮者を始めとする避難者への支援対策を学びます。
6	医療による被災者支援	医療チームの活動と医療支援のサイクルなど医療による被災者支援を学びます。
7	多様な主体による被災者支援/個別課題	専門職能における被災者支援と被災者支援の個別課題を学びます。
8	生活再建支援業務	家屋の被害認定から罹災証明の発行と罹災証明を基にした一連の生活再建支援業務を学びます。
9	災害時のトイッシュ問題(演習)・全体討論	避難所のライフサイクルを演習形式で学びます。学んだことをグループで話し合い、理解を深めます。

⑥ 「復旧・復興」

コースディネーター ◆中林一樹 (明治大学)

1	復旧・復興総論	災害からの復旧・復興の概念、行政・被災者等の取り組みから生活・産業、社会、市街地の復興プロセスとその全体像について学びます。
2	公共基礎の復旧(基盤復興I)	被災した公共施設の復旧・再建の理念とその支援制度、対応業務の進め方について、事例を踏まえて学びます。
3	仮設住宅(生活復興I)	仮設住宅供給の意義と課題、借りの供給と仮設住宅(身なし仮設)について、地元の市町村の役割分担、建設費用の選定や確保、入居と管理運営、撤去等について、事例に基づき学びます。
4	コミュニティ再生(社会復興)	地域社会の再生(つながり・コミュニティ)の継続と活性化)について事例を通して学びます。
5	市街地の復興まちづくり(基盤復興II)	土地区画整理事業など市街地の基盤を再整備する復興まちづくりの意義と課題を事例に基づいて学びます。
6	住まいの再建(生活復興II)	被災者個人の生活再建とその基盤となる被災者の住まいの再建について体系的に学びます。
7	地域産業の復興と雇用確保(産業復興)	地域社会の活力と被災者の雇用確保のための産業復興について事例に基づいて学びます。
8	復旧・復興対策(事前準備)の事前討論	自らの自治体の地域防災計画の復旧・復興編を検証し、復興対策の事前準備を演習形式で学びます。また、復興の取り組みの事例を通じて、課題を事前復興に取り組み可能性と課題を考えます。

⑦ 「指揮統制」

コースディネーター ◆林春男 (防災科学技術研究所)

1	指揮統制総論	災害対策本部組織を統制していくための理論と基本構造を学びます。
2	指揮統制の世界標準	世界標準における危機対応組織の仕組みを学び、リーダーに求められる4つの役割を学びます。
3	指揮統制の現状	大規模災害を経験したトツガが指揮統制の本質を語ります。
4	日本社会に適した指揮統制のあり方	危機対応の世界標準に則して災害対策本部の統制のあり方を学びます。
5	リーダーシップのあり方	リーダーシップの考え方や指揮統制を行うための要求事項を学びます。
6	参謀にとつての災害対策本部運営	危機対応組織の参謀がどのようにトツガを補佐し、いかに災害対策本部を運営していくのかについて学びます。
7	災害広報演習(オンデマンド)	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。
8	災害広報演習(リアルタイム)	地方公共団体の災害広報の事例を踏まえ、地方公共団体の長や幹部は、メディアを通して被災者にどう向き合い、どう語るのかを学びます。
9	全体討論	防災ワークショップのため、指揮統制について学んだことを、受講者のそれぞれが組織でどのように反映させるのかを考えます。

⑧ 「対策立案」

コースディネーター ◆林春男 (防災科学技術研究所)

1	対策立案総論	災害対応における対策立案の考え方と情報統括、活動方針、体制を学びます。
2	計画立案プロセス	「当面の実行計画(インジニメント・プランニング・プラン)」立案のプロセスについて学びます。
3	地図による状況認識の統一とISUTの試み	GISによる統合された情報提供の必要性とISUTの有効性について学びます。
4	応急期の政府支援	緊急直後に各省庁から提供される具体的な支援の内容について学びます。政府の主体的な初期対応は「真珠」でコア(「初期対応における連携」)を学びます。
5	効果的な災害対応計画・マニュアルの立案	災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、災害対応の事例を基に演習形式で学びます。
6	災害対策本部運営演習(オンデマンド)	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、活動方針を検討し、災害対策本部会議において対策を決定する手法を学びます。
7	効果的な災害対応計画・マニュアルの立案	災害対応計画の果たすべき役割と基本的な構造、災害対応の事例を基に演習形式で学びます。
8	災害対策本部運営演習(リアルタイム)・全体討論	災害発生後の限られた情報の中で状況を推測し、活動方針を検討し、計画立案し、本部会議において対策を決定する手法を学びます。また、災害対応ワークショップにおける計画立案について学んだことを、災害対策本部運営にどのように反映させるのかを考えます。

⑨ 「人材育成」

コースディネーター ◆黒田洋司 (消防防科学センター)

1	人材育成総論	人材育成の必要性や戦略、法律、計画を学びます。
2	訓練・研修企画手法	防災訓練・研修を企画する際のポイントを学びます。
3	訓練企画運営実践I(状況付与型図上演習)	訓練手法のうち状況付与型図上演習の一つである、災害対策本部運営訓練を経験するとともに、さまざまなシナリオを用いた状況付与型図上演習の考え方を学びます。
4	地域防災リーダーの育成	地域における防災リーダーの育成の意義と研修の企画、実施手法を学びます。
5	訓練企画運営実践II(討論型図上演習)	訓練手法のうち討論型図上演習の一つである災害対応者のインタビュールによる追体験演習を経験するとともに、さまざまな素材を用いたケーススタディの考え方を学びます。
6	訓練・研修の実際	国や地方公共団体等が実際に実施している訓練や研修の事例を学びます。
7	人材育成プログラムの作成演習	様々な訓練・研修を組み合わせた人材育成のプログラムの作成手法や留意点について学びます。

⑩ 「総合監理」

コースディネーター ◆岩田孝仁 (静岡大学)

1	総合防災政策	総合的に防災政策を推進していくことの基本的な考え方を予防対策から応急対策への流れに沿って学びます。
2	総合的な被害を抑制施策の実施	水害や土砂災害、地震などの被害を抑制するため総合的な対策について学びます。
3	リスク評価に基づく災害対応の検証	防災アクションプランの意義と策定方法、事業評価の手法について学びます。
4	応急対策の実態	災害対策本部における重要業務と応急活動の実態について学びます。
5	大規模災害の検証と対応	大規模災害がどのようにに検証され、どのような対応方針が示されているのかを学び、今後の災害への反映を考えます。
6	災害対策本部体制・全体討論	災害対策本部体制を構築するために必要な体制、空間レイアウトなど事前準備すべきことを学び、災害対策本部運営の流れと心構えを学びます。また、総合防災政策立案について学んだことを、受講者がそれぞれの組織でどのように反映させるのかを考えます。